

# 温暖化防止ながれやま便り

NPO 温暖化防止ながれやま  
代表 石垣 幸子  
流山市江戸川台西 2-152  
編集 春田 育男

第28号 2018年6月

## 第1回市民環境講座

### 「太陽のエネルギーを実感しよう!」を開催しました。

平成30年6月3日(日曜日)、生涯学習センター(流山エルズ)で、第1回市民環境講座「太陽のエネルギーを実感しよう!」(親子でミニ・ソーラーカーを作って走らせよう)が、「セントラルパークフェスタ2018&感謝祭」の会場内で開催されました。市民環境講座は地球温暖化についての啓発を目的に行われており、今年度1回目の開催となります。

会場では、ソーラーカーの工作教室のほかにも、LED照明の省エネ調べ、人力発電の体験、流山クールチョイス宣言のパネル展示も行われ、電気や節電について楽しく学べる内容となっていました。



大ギャラリー内で行われたソーラーカーの工作は小学生を対象に、午前・午後の2回の講座に40組の親子が参加しました。ニッパーやハサミなどを使用するなど、一生懸命ソーラーカーを作りあげました。ソーラーカーを完成させた後は、屋上に集



まり完成したソーラーカーを走らせました。当日は晴天で絶好のソーラーカー日和で、子どもたちは自分で作り上げたソーラーカーを走らせ喜びの声をあげていました。団扇などで日陰を作るとソーラーカーが走らなくなるという事も実際に見て体験することで、子どもたちが太陽のエネルギーを実感していました。

大ギャラリーでは、人力発電機で発電の体験をしてもらいました。子どもたちからは「電気を作るのは大変で疲れた」といった感想が聞かれました。



また白熱電灯、蛍光灯、LEDランプの消費電力量を調べ、LEDランプは消費電力が極端に低くCO<sub>2</sub>排出削減として地球環境に優しい照明であることを実感してもらいました。

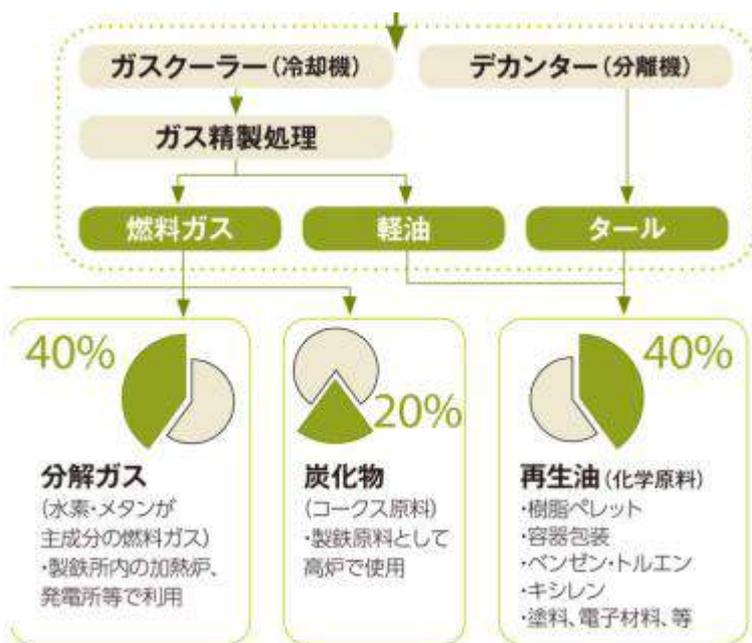


「流山クールチョイス宣言」のブースでは、さまざまな方がクールチョイス宣言をしてくださいました。「クールチョイス」は国が提唱する地球温暖化対策の国民運動で、日本の優れた技術を生かして日常生活のさまざまな面で持続可能な未来につながる選択をしようというものです。

### 3月度「省エネルギー学習会」

## 新日鉄住金（君津）見学会

平成30年3月12日（月）新日鉄住金（株）君津製鐵所「プラスチック・リサイクル設備」の見学会を開催しました。参加者は12名でした。この設備は、一般家庭から回収された容器包装プラスチックを、コークス炉を使ってケミカルリサイクル法により40%を「再生油（化学原料）」として回収しプラスチック原材料等に、20%を「分解ガス（水素・メタン）」として回収し製鐵所内の発電所等で燃料に、20%を「炭化物（コークス原料）」として製鐵工程にて利用しています。



出展：

<http://www.nssmc.com/csr/env/circulation/waste.html>



### 4月・5月「省エネ学習会」

## 地球温暖化と社会イノベーション

4月・5月の「省エネ学習会」は、放送大学「地球温暖化と社会イノベーション」（六川修一：東京大学教授ほか）をテキストにして「地球温暖化」について基本的なことを学習しました。放送大学の講義は4月7日よりテレビ（地上波、BS放送：土曜日 6:45~7:30）で放映されています。

4月度（4月6日）は、第1章～第15章の概要説明と、第1章を学習しました。

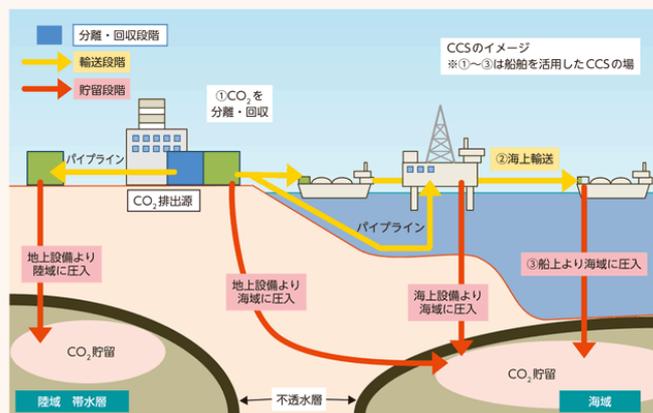
<第1章> 「パリ協定と地球温暖化対策の課題」

<概要> 2015年に採択されたパリ協定の下、地球温暖化の対策はこれまでにない真摯な取り組みが求められることとなった。本講座ではその背景と地球温暖化の科学的側面を理解し、人類が持続的に発展するために今なすべきことをあらためて考えてみたい。まず、地球温暖化が人類に問うている課題をマクロな視点で理解し、次いでパリ協定の歴史的意義を概説する。さらに温暖化防止に関する今後のあらゆるステークホルダー（関係者）の取り組みのあり方を考える。



5月度（5月4日）は、第8章「問題解決への取組：ステークホルダーとその役割」と、第10章「産業界の取組：水素社会と炭素隔離」を学習した。

### CCSの流れ



## 6月「省エネ学習会」

### 流山市環境白書について



6月度（6月1日）省エネ学習会は、流山市環境政策課係長の遠藤剛さんに「流山市環境白書」について説明をして頂いた。市民に対しての説明会は初めてのことです。

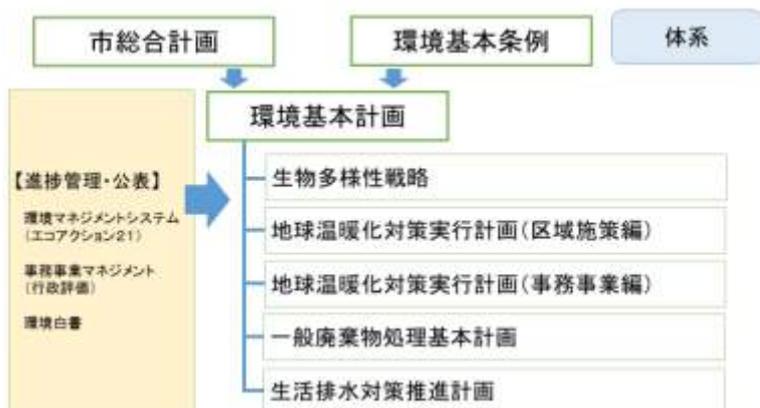
#### 1. 環境白書

- 環境基本計画で同計画の進捗を公表する年次報告書。
- 平成18年版（平成19年1月公表）で初めて作成。この時点では政令市を除き県内初。
- 平成22年版からエコアクション21の環境活動レポートと一体化。

#### 2. 環境白書の構成

- ハイライト
- 1部：数字で見る流山市：基礎情報と環境基本計画の項目に沿った数値情報。典型7公害に関する情報が中心。
- 2部：実施計画の進捗：4つの実行計画に関する進捗。
- 3部：環境マネジメントシステム：システム概要とシステム要求事項。
- 別冊：システムの各部局の目標管理

#### 3. 環境基本計画の体系



#### 4. 実行計画

- ①（自然共生）：生物多様性ながれやま戦略

平成29年版

## 流山市環境白書



平成28年11月に十太夫塚公園で行われたまなまなみづくりプロジェクトの植樹の様子

「平成29年版環境白書」は、平成28年度の環境に関する計画の進捗や各種データをまとめたものです。市域の温室効果ガス排出量のデータについては、統計資料を用いるため平成27年度のデータとなっています。また、環境白書はエコアクション21の規定における「環境活動レポート」の内容も包括しており、一部平成29年度の内容も含まれています。

- ②（低炭素）：地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）
- ③（資源循環・廃棄物）：一般廃棄物処理基本計画
- ④（快適・公害）：生活排水対策推進計画
- ⑤（市民協働・環境学習）：

#### 5. 環境マネジメントシステム（IQAアクション21）

- 環境省がガイドラインを作成する認証制度。
- 流山市では平成21年3月に認証取得。
- 毎年、外部審査人による審査を受審。
- 要求事項の1つである「環境活動レポート」を環境白書と統合して公表している。



## 第2回市民環境講座

### 夏休み親子バスツアー（予告）

国立環境研究所と筑波宇宙センター（JAXA）（いれもつくば市）を見学する親子に大人気のバスツアーです。地球温暖化対策をはじめとした、最先端の環境技術を体験することができます。

- ①日時：平成30年7月21日（土）8時～17時
- ②集合：流山おおたかの森駅 東口ロータリー
- ③対象：小学生以上の親子 40名
- ④費用：無料（昼食は各自）
- ⑤持参：中学生以上は、顔写真付き本人確認書類が必要。
- ⑥申込：7月1日付「広報ながれやま」に掲載

<見どころ（昨年の例から）>



- ・地球環境モニタリング：空・海・宇宙から
- ・自転車 de 発電：発電量ランキング発表、発電証明書発行
- ・エネルギー消費の見える化：省エネの技を確認
- ・地球温暖化に「適応」：どんな適応策が私たちに出来るのか？



- ・ガイド付き見学ツアー（事前予約済み）：筑波宇宙センター紹介ビデオ、宇宙飛行士養成エリア、「きぼう」運用管制室
- ・展示館（スペースドーム）：人工衛星による宇宙利用（通信、測位、地球観測）、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟、「こうのとりのつばさ」
- ・ミュージアムショップ：JAXAや宇宙に関するグッズの販売。宇宙食などが人気です。



### 編集後記

今年、春の桜始まり、藤の花、梅雨の紫陽花と順に季節を愛でる花々が季節を待たずに咲き誇り、花見に行ったら終わっていたとがっかり組が多かったと聞く。日本では平均気温が100年で約1.2℃上がっているという。政府は地球温暖化による自然災害や農作物の生育不良、人への健康被害などを減らすための新法「気候変動適応法案」を今国会に提出予定という。

環境省発表によると2016年の温室効果ガス総排出量は13億700万トンで、前年比1.2%減であるという。日本は国連に26%削減宣言。パリ協定では今世紀末には実質0にしようとうたっている。この数字は途方もない数字である。

（石垣幸子）